

第 31 回水郷水都全国会議 in 沖縄・名護大会開催要領

大会テーマ 海は誰のものか



豊かな辺野古の海

水郷水都全国会議は、1984年に琵琶湖で世界湖沼会議が開かれたのを契機に、それに関わった市民団体や研究者が翌年から継続して開催してきました。水資源・水環境と社会に関するさまざまな問題に対して、市民・行政・科学者それぞれの立場から議論し、情報の共有化を図ろうとしてきた活動です。ちなみに第19回の会議は1999年に沖縄県宮古島で開催されました。当時、宮古島では上水道の水源となる地下水の汚染が深刻な状況にありました。水郷水都全国会議の開催を通じて島民に地下水保全の重要性の認識がより浸透し、その後の様々な保全活動を促進し、取水中止の危機を脱する成果を上げました。

第31回水郷水都全国会議は沖縄県名護市で開催いたします。現在沖縄本島では本島北部の東村高江の米軍ヘリパット建設、名護市辺野古の普天間代替基地の建設、中部沖縄市の泡瀬干潟埋め立てが水環境と地域の人々の暮らしにかかわる大きな問題となっています。この中で開発計画における環境アセスメントのあり方、地域の決定権、地域の持続的発展のあり方が大きく問われています。

大会テーマを「海は誰のものか」としました。是非、多くの全国の仲間が結集し、新基地建設や海浜埋め立ての問題を共有するとともにそれぞれの地域の水環境や地域の持続的発展に関して意見を交換し、未来を切り開いていく契機にしていきたいと思っております。全国からのご参加をお待ちしております。

開催要領

日時 2015年7月18日(土)～19日(日)

※18日午前から参加される県外の方は前日からの前泊が必要です。

テーマ 海は誰のものか

沖縄県は小さな島国で、環境の単位は実にコンパクトです。空から降った雨は森や畑を潤し、ミネラルを運んで川となります。狭い流域と短い流路の川は海に注いでいきます。川と海の出会うところではマングローブ林を形成し、その先のイノーと呼ばれる浅海域ではたくさんの生命を育み豊かな生態系を形成してきました。

沖縄本島北部の土地利用は「山原型土地利用」と呼ばれ、山、川、海の環境単位が実に明確です。そこは、沖縄本来の自然を良く残すとともに沖縄本島中南部の水がめとしても大きな役割がありますが、日本復帰後さまざまな地域振興策が取り入れられる中で環境問題も派生してきました。そして近年は普天間基地の代替と称して辺野古に新たな基地を建設するとの日米合意に対し、沖縄県民の多くがその計画に対し、反対行動を起こしています。また、本島中部の沖縄市では泡瀬干潟の埋め立てに対し市民が粘り強い反対運動を続けています。

第31回水郷水都全国会議のテーマを「海は誰のものか」とし、現在沖縄県で起こっている地域と環境の問題の大元を探りつつ、地域の未来を考えていきます。

会場 18日：名護市民会館中ホール 19日：名護市中央公民館

主催 第31回全国水郷水都全国会議 in 沖縄・名護実行委員会

後援 調整中

参加費等

会議参加費（2日間通じて）	一般	500円
	大学生	200円
	高校生以下	無料
現地見学会費（18日午前中）		2,000円
交流会参加費（18日午後5時半より）		2,000円
弁当代 18日		500円
19日		500円

※県外参加者及び県内遠方からの参加者は弁当を注文されたほうが時間の都合がよいです。

※予約したものの当日欠席の場合には、参加費、弁当代の返金はできかねますのでご理解下さい。

※会議資料代は500円です。当日受付にてお支払ください。

注記

会場までの交通手段と宿泊所は各自で手配し各自でご負担ください。

- ① 会場に近いホテルには、ホテルゆがふいんおきなわ、ホテルルートイン名護、スーパーホテル沖縄・名護、山田荘等があります。
- ② レンタカーを利用される場合は名護市、恩納村のリゾートホテルの利用も可能です。ホテルパックだと意外に安く泊まれる場合もありますのでインターネット、もしくは旅行社の窓口で確認ください。
- ③ 那覇で前泊され、当日会場入りされる方は、那覇バスターミナル【旭橋】から名護行



の高速バスをご利用ください。系統番号 111 番 那覇バスターミナル【旭橋】07:12 発
⇒名護市役所前 08:45 着を利用すると午前の現地見学会の出発時間に間に合います。
バス料金 2,100 円 ※名護市役所前から名護市民会館までは徒歩 5 分以内。

問い合わせ先

〒901-0361 沖縄県糸満市字糸満 973 番地 風水舎内 崎山正美
Tel 090-8351-9620 (崎山携帯電話) Fax 098-995-1230 (株・イトサン内)
E-mail fu-sui-oki@hi-ho.ne.jp

※参加申し込については 7 ページを参照ください。

プログラムの日程と内容

1. 日程

7月18日(土) 【会場：名護市民会館中ホール】

- 9:00 現地見学会出発 名護市民会館駐車場に8時50分までに集合
- 12:00 会議受付開始
- 13:30 開会
主催者あいさつ
基調報告
- (1) 海は誰のものか ◎調整中
- (2) 地域の決定権(仮題) ◎調整中
- (3) わが国の政治は地方自治の本旨に基づくもの 保母武彦(島根大学名誉教授)
～国の大型公共事業を初めて止めた宍道湖・中海から～
- 鼎談
◎×◎×保母 コーディネーター 佐藤学(沖縄国際大学教授)
- 17:00 閉会
- 17:30 交流会(19:00まで)
- 19:15 全国実行委員会会議(全国実行委員&現地実行委員のみ)名護市中央公民館
- 21:00 全国実行委員会会議閉会

7月19日(日) 【会場：会場名護市中央公民館】

- 9:00 受付開始
- 9:30 分科会開始
- 第1分科会 環境アセスメントの在り方と地域の決定権
- 第2分科会 地域の自立と持続的発展の取り組み
- 12:00 昼食
- 13:00 全体会議
分科会報告
- 14:00 大会宣言文の検討と発表
- 15:00 閉会のあいさつ
- 15:15 閉会

2. プログラムの内容

(1) 現地見学会 (7月18日土曜日午前9時発、12時帰着。要予約)

現在、大きな問題となっている、東村高江のヘリパット建設の反対運動、名護市辺野古の新基地建設反対運動の現場を見学します。また、行路の途中山原の森やマングローブ林を車窓から見学します。現地の状況を少しでも捉え午後からの会議に臨みます。

(2) 基調報告と鼎談 (7月18日土曜日 午後1時半~午後5時まで)

「海は誰のものか」と大きなテーマを掲げて、3人の方から基調報告を頂きます。それぞれのテーマは、「海は誰のものか」、「地域の決定権 (仮題)」、「宍道湖の干拓計画の中止 (仮題)」とします。報告の後に、3人の報告者の鼎談を行い、問題点の大本を探りつつ、地域の未来を展望していきます。

(3) 分科会

第1分科会

環境アセスメントのあり方、地域の決定権などの報告のもとに、各地で起こっている地域の環境や地域の決定権などについて報告を受けて地域の問題について考えていきます。

発表者は調整中 (高江からの報告、辺野古からの報告、泡瀬からの報告、その他県外からの報告等を予定)

第2分科会

持続的発展の取り組みの実践報告のもとに、これからの地域の自立的歩みについて考えていきます。

発表者は調整中 (バリ島NGOによる地域主体の観光産業振興 (仮題)、奥間川環境基金、エコツーリズム、辺野古基金等の報告、その他県外からの報告等を予定)

発表者募集

1. 分科会発表

分科会での発表者を募集します。

※発表は1件15分（プラス質疑応答3分）の予定

※発表件数は8件程度を予定

発表申し込み期限 6月10日（水）

原稿提出期限 6月20日（土）

※原稿はWordファイルでA-4版1枚（1,000文字以下）あるいは2枚（2,500文字以下）枚数には図表を含む。フォントは10.5ポイントを基本とする。

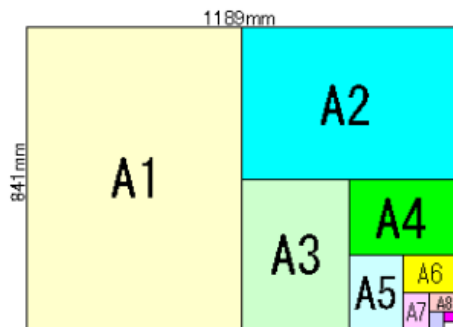
2. ポスター発表・写真展示

ポスターによる発表及び写真展示を募集します。

※発表申し込み期限 6月10日（水）

ポスターのサイズはA0版以下。7月18日の11時までに会場にお持ちください。

※A0版（841mm×1189mm）は、A4版16枚分です。



第 31 回 水郷水都全国会議 in 沖縄・名護大会 参加申込書

ふりがな	
氏名	
住所	
所属	
TEL	
FAX	
住所	
メールアドレス	

参加内容

該当する項目に○印をつけて合計金額を記入してください。

内容	会議参加費	現地見学会費	交流会費	弁当 7/18	弁当 7/19	合計金額
	500 円	2,000 円	2,000 円	500 円	500 円	
(○印)						

※会議資料代は当日支払い（500 円）となります。

申し込み先

参加申し込み及び振込の締め切りは 6 月 20 日です。

参加申し込みはこの様式をコピーして下記に送ってください。

参加費等の振込は下記の郵便振替口座をお願いいたします。

参加申し込み先

〒901-0361 沖縄県糸満市字糸満 973 番地 風水舎 崎山正美

Email fu-sui-oki@hi-ho.ne.jp

電話 098-994-8183 崎山携帯電話 090-8351-9620

FAX 098-995-1230 (株イトサン)

郵便振替口座 記号 17050 番号 14888861

名義 水郷水都全国会議 in 沖縄・名護実行委員会